

第2回山形県地域医療対策協議会 議事要旨

- 1 日 時 令和元年10月10日（火）15時30分～17時20分
- 2 場 所 県庁2階 講堂
- 3 出席者

一委員（五十音順）一

- | | | |
|----|-------|-------------------|
| 会長 | 吉村美栄子 | 山形県知事 |
| 委員 | 阿彦忠之 | 山形県健康福祉部医療統括監 |
| 委員 | 安藤常浩 | 社会医療法人みゆき会みゆき会病院長 |
| 委員 | 石井政次 | 山形済生病院長 |
| 委員 | 大串雅俊 | 米沢市立病院長 |
| 委員 | 大澤賢史 | 山形県病院事業管理者 |
| 委員 | 鎌塚栄一郎 | 北村山公立病院長 |
| 委員 | 神村裕子 | 山形県医師会副会長 |
| 委員 | 川並透 | （独行）国立病院機構山形病院長 |
| 委員 | 後藤康夫 | 寒河江市立病院長 |
| 委員 | 佐藤俊浩 | 最上町立最上病院長 |
| 委員 | 鈴木聡 | 鶴岡市立荘内病院長 |
| 委員 | 高橋一二三 | 白鷹町立病院長 |
| 委員 | 武田弘明 | 山形県立中央病院長 |
| 委員 | 土田正剛 | 山形県市長会長（東根市長） |
| 委員 | 中目千之 | 山形県医師会長 |
| 委員 | 根本建二 | 山形大学医学部附属病院長 |
| 委員 | 八戸茂美 | 山形県立新庄病院長 |
| 委員 | 林雅弘 | 公立置賜総合病院長 |
| 委員 | 原田眞樹 | 山形県町村会長（庄内町長） |
| 委員 | 深瀬和利 | 山形県立河北病院長 |
| 委員 | 山下英俊 | 山形大学医学部長 |

―事務局―

玉木健康福祉部長、泉健康福祉部次長、酒井地域医療対策課長、各総合支庁保健企画課長 他

4 議題

(1) 協議事項

- ①医師少数区域及び医師多数区域の設定について
- ②医師少数スポットの設定について
- ③周産期医療圏・小児医療圏ごとの相対的医師少数区域の設定について
- ④山形県医師修学資金貸与制度の見直しについて

(2) 報告事項

- ①令和2年度医師配置方針
- ②山形県内の医師の専門医取得状況について

5 議事概要

○ 医師少数スポットの設定について

- ・ 国のガイドラインでは、「医師少数スポットの設定は慎重に行う必要がある」とされているが、(案)のスポットの範囲が広いように感じられる。
- ・ スポットの設定に関して、距離や時間という概念が出てきたが、高速道路の有無や消防署の分署の場所等の条件も考慮に入れる必要があるのではないかと。

○ 周産期医療圏・小児医療圏ごとの相対的医師少数区域の設定について

- ・ 産科医、小児科医が地域におらず病院としても苦慮している。住民はより大変に感じていると思うが、この指標で実態を表しているか疑問である。

○ 山形県医師修学資金制度の見直しについて

- ・ 修学資金貸与医師については、誰をどこに配置するかが重要。各方面の意見を聞きながら配置する必要がある。
- ・ 山形大学医学部附属病院や県立中央病院に勤務しながらへき地勤務の義務を消化できる仕組みは、義務内での専門医取得に有効である。
- ・ 県内定着のためには義務内で専門医資格の取得ができるようにする必要があり、蔵王協議会なら義務内での専門医取得と義務明け後の地域定着まで考えて配置調整が可能である。
- ・ 義務を消化しながら専門医を取得するため、引き続き、大学、病院、県、医師本人が協力し、連携していくべき。

以上